

越後津南 信濃川宮野原橋ボルダー

令和6年8月5日 RCT/K

今年の北信濃は例年に比較すると短期間ではあるが雨が続く本格的な梅雨で、時々青空の覗く日はあるものの晴天は長続きせず岩の乾きが悪く何処に行くか迷うことが多かった。そんな中で確実に乾いていると思われる長野新潟県境の宮野原橋から見えるボルダーに行ってみた。

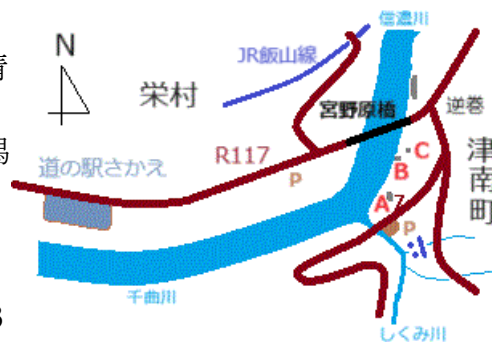
長野県内を流れてきた千曲川は新潟県に入ると名称が信濃川となる。ボルダーは橋の新潟県側の上下流の河原に幾つかあるのだが、上流側には対象となるボルダーは3つあり、安山岩系で高さは1mから2m強程度で水流に磨かれ良いホールドに乏しい。下流側には火山角礫岩の横に長い高さ3m程のボルダーが川岸に連なる。礫が大きく飛び出てホールドが豊富ではあるが、礫が抜けそうな感じがおり、さらに岩の下から匂いのある地下水(生活排水? 温泉水? 以前上に宮野原温泉があった)が流れ出ておりイメージ的にはボルダーとしてどうかという感じがある。

ということで、今回は上流側の3つのボルダーをトライしてみたが、未解決の課題が幾つかあり、それらについては今後機会をみてトライしてみたい。

アクセスは、宮野原橋を目指して行けば迷わない。橋の新潟県側逆巻交差点を南へ、さらに直ぐに北野天満宮方面に入ると志久見橋の脇に駐車スペースがある。

アプローチは、反対側に明瞭な河原に下りる道があり途中梯子が1箇所ある。

なお、長野県側に入って直ぐのところに道の駅「信越さかえ」がありトイレが利用でき食事も可能である。

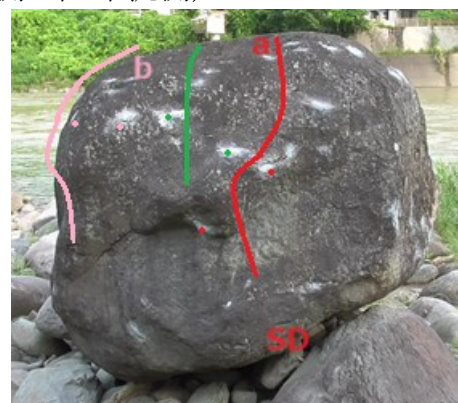


《課題紹介》

●A 岩(仮称:ニコちゃん岩) (トポ上左:上流側 上右:道路側 下:下流側)

誰かが意図的に目を描き込んだとみられ、橋から見ると「スマイリーフェイス」に見える黒い岩。

全体的にホールドが乏しく、特にフットホールドが小さく甘い。



赤ライン(課題名:なじょもん)は、この岩唯一のSD課題で、スタート左手は大きなサイドプルホールド。右手は上のガバが届かず、ガバ少し下のスローパーホールドを使い身体を上げガバにデッド。

黄緑ラインは、スタート左手は小カチ、右手は少し大きめのスローパー気味のホールド。足が小さく身体が上げにくい。

青ライン(課題名:ニコちゃん大王)は、左手はスローパー、右手は小カチで身体を上げ上部の丸っこいホールドにデッドするが、良いフットホールドがなく厳しい。



●B岩&C岩（トポ左:B岩上流&川側 中央:B岩道路側 右:C岩）



B岩は、橋の少し上流にある大きな溝が入った2m程の岩。溝が何に使われたのかは不明。川が増水すると川側の取り付きが水没してしまうので梅雨時はトライできなかったが、梅雨明け後水位が下がった時にトライした。

青、水色ライン両課題とも溝のガバを使用する。未使用は未解決。上流側と川側は2本の易しいラインのみだが、今後難しい課題ができる可能性がある。上流側赤ラインの課題名は「新ちくわ」

C岩は、B岩の少し下流にある小さなスラブ。易しい3本のノーハンド課題がある。